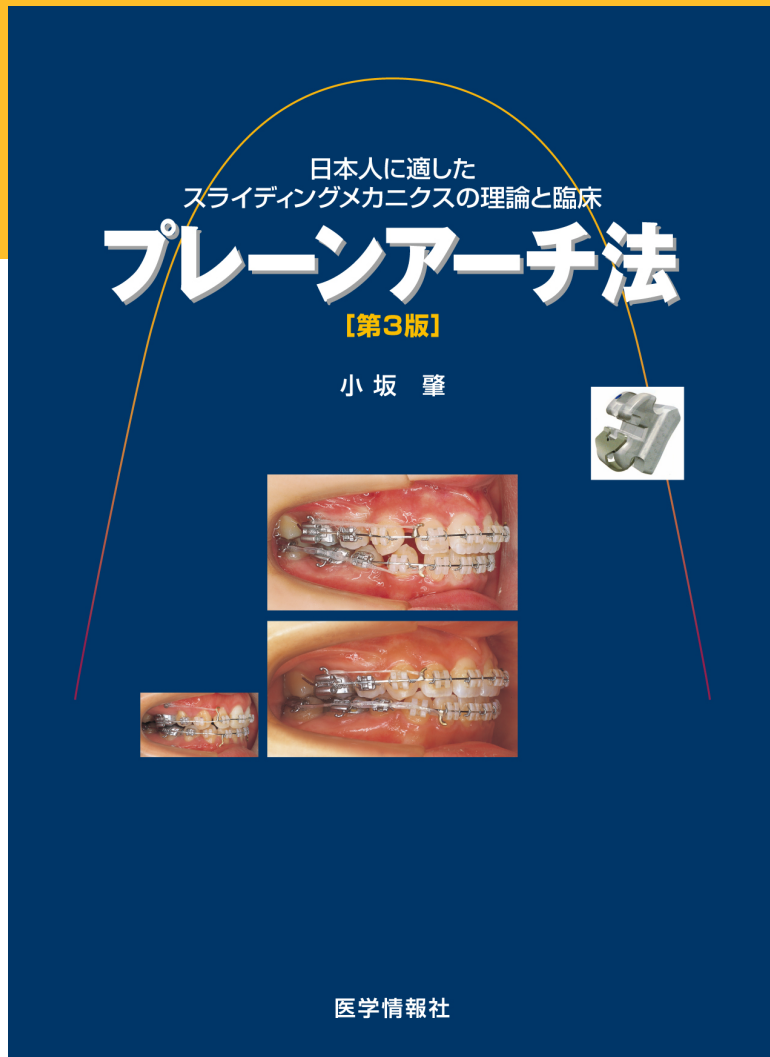


日本人に適したスライディングメカニクスの理論と臨床 プレーンアーチ法 第3版



著：小坂 肇 東京都品川区・小坂矯正歯科医院／
日本矯正歯科医学会専門医・指導医

A4 変型判・320 頁
定価 33,000 円 (本体30,000円+税)

第 I 章	エッジワイズ法の変遷
第 II 章	ストレートワイヤー法概念と特徴
第 III 章	日本人向けプリアジャステッドアプライアンス開発の必要性
第 IV 章	日本人向けプリアジャステッドアプライアンスの開発
第 V 章	日本人向けプリアジャステッドアプライアンス KOSAKA Set Up の臨床評価
第 VI 章	日本人の歯列弓形態とアーチワイヤーフォームに関する研究
第 VII 章	オリエンタルプリアジャステッドアプライアンスの開発
第 VIII 章	日本人の顎・顔面および不正咬合の特徴
第 IX 章	KOSAKA Plane Arch System (KPS) とその特徴
第 X 章	KPS 治療システムに用いられる材料とその特徴
第 XI 章	臨床上の重要ポイント
第 XII 章	特殊症例に対する処置

目次

第 XIII 章	骨格性Ⅲ級症例に対する Class III Finish 治療
第 XIV 章	.022×.028 インチスロットプレーンアーチシステム
第 XV 章	次世代審美ブラケットとしてのプラスチック素材ブラケット
第 XVI 章	セルフライゲータリングブラケット
第 XVII 章	インプラントアンカーのプレーンアーチ法への応用
第 XVIII 章	症 例
	I 級抜歯症例 (症例 1～3)
	II 級非抜歯症例 (症例 4～6)
	III 級抜歯症例 (症例 7～9, 両顎前突: 症例 11～13)
	IV 級抜歯症例 (症例 14～16)
	V 級外科矯正症例 (症例 17)
	変則抜歯症例 (症例 18～21)

◎第 2 版 XV 章のリン酸カルシウム系ブラケットの解説をプラスチック素材ブラケットの解説に改変、新しい臨床に即応した形に整えた。

◎エッジワイズ法からストレートワイヤー法への発展の経緯とその特徴を臨床の基本から解説し、学会・臨床家から高い評価を得ている。

●日本人の正常咬合および歯列弓形態データをもとに、論理的に、より薄く、より日本人に適した OPA-K (Oriental Preadjusted Appliance-Kosaka) 開発の必然性とその過程を紹介している。

■ライトフォースの適応を心がけたプレーンアーチ法の基本コンセプトがよくわかる。

■各治療ステージでの 3 本のプレーンアーチの使い分けとループを用いないスムーズスライディングによる空隙閉鎖治療のポイントを詳述。

■.018 インチスロットおよび .022 インチスロットシステムへの対応とその利点、欠点とは。

■近年の治療法のプレーンアーチ法への導入での注意点の解説。

■I、II、III 級 (Class III Finish を含む) をはじめ開咬、過蓋症例および特殊症例などの治療経過を豊富な写真でわかりやすく解説。